

地理歴史科, 公民科 授業構想

1 基礎情報

教科	公民	科目	現代社会 (公共)
主題名 (単元)	共生社会の実現を目指して		
副題	ーループリックを活用した「社会を構想する力」の育成ー		
教科書 副教材	『高校現代社会 新訂版』 (実教出版) 『フォーラム 現代社会』 (とうほう)		

2 資質・能力

ねらい (単元目標)	共生社会の実現のために、現実社会の諸課題とその解決策について、ループリックを活用しながら多面的・多角的に考察、構想させ、まとめさせる。		
身に付けさせたい力 (期待される生徒の変容)	<ul style="list-style-type: none"> ・現実社会の諸課題について、その背景や解決策を多面的・多角的に考察し、まとめる力 ・自らの学習上の課題を把握し、それを踏まえて次の学びに結び付けることができる力 		
資質・能力 獲得の証拠	プレゼンテーション能力	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が追究した内容を多面的・多角的にまとめ、説明できる。 ・自分の考えを論文やポスターに論理的に分かりやすくまとめられる。 	
	メタ認知	<ul style="list-style-type: none"> ・ループリックを使い自分の学習状況を理解することができる。 ・自己評価に基づき、自分の学習上の課題を把握することができる。 	

3 指導計画 (概要)

	教員の働きかけ	生徒の活動
指導計画 ①	【問①】 「日本の現状は『共生社会』といえるだろうか」 ・考察が深まらない場合には「社会保障」「労働」などの観点を提示する。	・「日本の現状は『共生社会』といえるか」を周囲の生徒と話し合いながら考察する。
	【問②】 「共生社会の実現の上で、現在の日本の課題は何だろうか」 ・班で活動をすることで多面的・多角的に思考させる。 ・付箋と模造紙を配付し、話し合いを行いやすくする。	・共生社会を進める上での日本の課題を以下の手順で整理する。 ①個人で考え、付箋・紙に書く。 ②班でブレインストーミングを行う。 ③班でKJ法を用いて整理する。
	【問③】 「共生社会の実現のために最も重要だと考える課題は何か」	・班でまとめた課題の中から最も重要だと考える課題を考え、個人でその理由をワークシート1にまとめる。

	教員の働きかけ	生徒の活動
指導計画②	<p>【問①】「あなたが選択した日本の課題の現状はどうなっているかまとめなさい。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考察を深めさせるため、同様の課題を選択した者同士で班を組ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「日本の課題」を以下の手順でまとめる。 ①個人で資料を収集し、その内容をワークシート2にまとめる。 ②①でまとめた内容を班で共有し、ワークシート2にまとめる。
	<p>【問②】「あなたが選択した日本の課題を解決するための方策を考えなさい。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・方策の実施主体ごと（「国家（政府）」、「企業（経営者）」、「個人」）に分類させることで多面的・多角的思考を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「日本の課題を解決するための方策」を以下の手順でまとめる。 ①個人で資料を収集し、その内容をワークシート3にまとめる。 ②①でまとめた内容を基に班で議論し、ワークシート3に整理してまとめる。

	教員の働きかけ	生徒の活動
指導計画③	<p>【問①】「前回、まとめた『日本の課題を解決するための方策』を分析し、特に重要なもの2つにしぼりなさい。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・方策を実施主体ごとに国家（政府）：黄色、企業（経営者）：青色、個人：赤色の付箋にそれぞれ記入させ、視覚的な理解を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前回整理した方策を、班で有効性、実現可能性の観点から以下の手順で分析する。 ①日本の課題の解決のための方策を付箋に記入する。 ②有効性、実現可能性を軸としたグラフに①で作成した付箋を位置づけを考えながら貼る。 ③班で話し合いながら付箋を貼る位置を修正する。 ・班で特に実施すべきと考えた方策2つについて概要と選んだ理由をワークシート4にまとめる。
	<p>【問②】「評価項目を踏まえて、課題とその解決のための方策をプレゼンしなさい。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンの前に生徒にプレゼン用の評価項目を示すことで、学習目標を明確にさせる。 ・次回までに評価シートを生徒にフィードバックすることで、生徒に学習状況を理解させ、次の学習に活かせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンを作成する。 ・発表者は5分程度でプレゼンを行う。 ・発表を聞いている者は他班の参考になる点や疑問点等を含めた評価をワークシート5（評価シート）に記入する。

	教員の働きかけ	生徒の活動
指導計画④	<p>【問】「ルーブリックを踏まえて、共生社会を実現するために日本が取り組むべき課題とその解決策をポスターにまとめなさい。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価項目を示すことで、学習目標を明確にさせる。 ・適宜、机間指導を行い、活動が停滞している生徒には、同じ班の生徒のレポートを参考にするように指示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスターの作成を行う。 ・ルーブリックを基にワークシート6に自己評価を行う。

4 その他

<p>活用が期待される ICT機器・アプリ等 【機】ICT機器、【ア】アプリ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・【機】書画カメラ、プロジェクター（ワークシートを投影） ・【機】タブレット（資料の検索）
--	--

